



田代町企画管財課



町内企業（縫製、皮バッグ製造）で働こう

進出企業二社と 立地協定調印

過疎からの脱却、地域の活性化、町民所得の向上、雇用機会の場を確保するためあらゆる施策を行い、その一環として企業の誘致をすすめて参りました。

この度、旧県立南大隅高等学校跡にジーンズと皮バッグを製造する二社が進出することになり、十二月十五日に町長や企業代表者並びに県企業誘致対策室長が立合い町開発センターで立地協定書に調印が行われました。

ジーンズを製造するのは、日昌株式会社（本社・広島県）の子会社を田代町に設立、田代日昌株式会社として発足、皮バッグを製造するのは、株式会社カワノバッグ（本社：千葉県）とやよい商会（本社：三重県）が共同で設立する、やよい商会田代工場、両工場とも本年三月中に操業を開始いたします。

町民の皆様と共に、両企業を育てて行きたいものです。

活力に満ちた夢のある町に

新年のあいさつ

町長 松田 進



町民の皆様、故郷を離れ遠く異郷の地でお暮しの皆様、新年おめでとうございます。輝かしい昭和六十四年の年頭にあたり町民の皆様の御健康と御精進を心からお祝い申し上げます。

昨年中は、町議会をはじめ町内各種機関団体ならびに町民の方々の積極的なご指導とご援助を賜りましたことに對し衷心から厚くお礼を申し上げます。私が町政を担当するようになりましてから三年有余、日本・世界の情勢が厳しい中、町民の皆様の期待と信頼にこたえるべく全力を尽して町政を遂行して参りました。私たち田代町民が、美しい自然と人情豊かな郷土に誇りと自信をもって祖先が血と汗

の結晶で築いてきた限りない自然、豊かな美しい故郷を更に価値あるものにして、子孫に引き継がなければなりません。そのために町民一人、ひとりが自覚をもってお互いに助け合い励まし合いながら住みよい町づくりを強力に推進することを町民の皆様と誓うものであります。

顧みますと、昨年は夏場の長雨こそあったものの台風の襲来もなく比較的平穏な年でありましたけれども、本町の基幹作目である茶、たばこは平年作を下廻ったことは誠に残念であります。他の作目は平年並みでした。畜産部門におきましては、肉用牛は依然として高値で推移し、ブロイラーはやや落ち込んで足踏状態ですが、貿易の自由化に備えじっくりと研鑽を重ねる必要があると考えます。又、村づくり一品運動の推進も皆様方の積極的な取り組みによりまして着実に進んでいます。が輸送野菜がすばらしい成績を挙げています。柿も昨年は二トンの出荷でしたが、やはり技術的手法の改善が必要と思われませんが、他産地より一

週間はよい収穫の有利性があることに自信を得ております。このような事業は、一朝一夕にして成果がみられるものではありません。これから一層自立自興の精神を本町の暮らしにおこし町民運動として発展させなくてはならないと考えます。

更に、肝属南部国営総合農地開発事業も関係者の協力を得て、昨年中村上原台地に着工しました。又鶴園、長野、重岳、久木野地区を中心とした、大規模畜産基地建設事業も六ヶ年の歳月を経て本年度末で全て完了します。

農村基盤総合整備事業大原地区の農道整備、圃場整備も順調に進んでいます。農村地域農業構造改善事業自然活用型が花瀬地区を主体として約三億円の事業費でスタートいたしました。花瀬地区むらづくり推進協議会は発足当初から現在までむらおこしに対する情熱があつたことと実績にもとづき、昭和六十三年全農林水産祭り（むらづくり部門）で九州農政局長から表彰されました。今後この事業がすすむにつれ、農業と観光を結びつけた体系により地域住民の所得の向上をはかりたいと考えています。

いと考えています。国道四四八号線の八ノ尾橋は昨年暮完成し、新田トンネルの掘削工事事故もなく順調に進捗し本年六月に完成の予定で、又国道、県道も順調に工事が進められていくことは誠に有難く、県に對し深甚なる敬意を表します。

生活環境の整備ですが長い間中央地区簡易水道関係の皆様方には、老朽化のため断水など大変ご迷惑をかけて参りましたが、今年度で二ヶ年間の事業が完了します。工事期間中は何かとご迷惑をおかけしましたが、この間のご協力に感謝申し上げます。

更に旧県立南大隅高等学校田代分校の跡地も昨年九月に土地、建物一切を無償で払い下げを受け、この跡地に縫製会社、皮バッグ工場を誘致し昨年暮の十二月十五日に立地協定の調印式を県の立合のもとに行い三月一日から操業することになりました。

又、長谷地区に軽種馬のトレーニングセンターを誘致するため、現在用地取得を行っていますが関係者のご協力とご理解により着々と進捗いたしておりますことに対し感謝申し上げます。

先述の二企業、軽種馬トレーニングセンター何れにいたしましても、町の活性化、雇用機会の増大、町民所得の向上に大きく寄与するものと確信し、二十一世紀へつなぐ若者の夢とロマンの里づくりに邁進いたします。その外町内全域に各種事業を導入し、未来を拓く生産基盤の整備を押し進め経営規模の拡大、町民所得の増大をはかっています。

町民福祉の向上、商工業の振興、心身ともに健全な青少年のための教育の振興、農林業の振興、道路基盤の整備などいろいろ山積した問題がありますが、これら実現のため町議会、町内各種機関団体、町民の皆様の絶大なるご協力のもとに、将来へ向けてのよりよい田代郷を創造するために英知と活力を結集し、田代の未来像を考え「活力に満ちた心のかよい合う豊かな町づくり」を目指して、「活力に満ちた夢のある年」として頑張っていきたいとお願いいたします。

又、一昨年の元町長原順殿に続き、元町長門前信好殿が昨年一月十日ご逝去され、二年続いて良き指導者、助言者であられた故三町町長に對し

ここに町民の皆様方と共にご冥福をお祈りしたいと思っております。

町民一人、ひとりが幸福になることが町の活性化と発展の基礎になります。

昭和六十四年が、最も輝かしい年でありますと同時にご健勝で幸多い年となりますよう念願して新年のごあいさつとします。

年頭のあいさつ

議会議長 宮原 貢



明けましておめでとうございます。

輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお祝いを申し上げます。

昨年は農畜産物輸入自由化、円高等国際問題に皆様神経をつかって情報を探い、経営に懸命なご努力を続けられたことと存じます。町議会と

いたしましては、地域農業の現状を国政に訴え農業政策の見直しを要請いたしました。

このような厳しい情勢のなかで、町行財政の運営は極めて重大な対応が迫られております。

町財政がますます厳しくなるなかで、昭和六十三年度から肉用牛素牛導入資金基金制度が設定され肉用牛の生産の拡大振興を図ることになりました。又、道路の整備、土地基盤整備、肝属南部農地開発事業、町営簡易水道の改良工事等も順調に進捗いたしております。国道四四八号線（表木・新田間）の八ノ尾橋も竣工いたしました。待望の新田トンネルの竣工も迫って参りました。大規模改良道が完成することは地域の活性化に果す役割は大きいものがあると存じます。

又、旧南大隅高等学校田代分校跡地利用対策については、皆様に公的にも情勢をお伝えし関心をいただいております。ところでありますが、現在二つの会社の誘致立地についての交渉の過程であります。是非誘致の実現を図りたいと存じます。軽種馬トレーニングセンターの誘致については、建

設予定地の用地交渉に努力をいたしておるところであります。

昨年の農畜産物の生産状況は、茶が晩霜の被害により、また葉タバコは国際化の諸情況等によりそれぞれ生産計画に達しない状況ですが、その他全般に目標が達成できる見込であります。皆様のご努力とご苦労に敬意を表します。

皆さん環境改善のために土地基盤整備をはじめ全ての改善事業は、多額の財源と受益者の大きな負担のもとに実施されているものであります。事業目的が達成され、最大の活用が図られねばなりません。むらづくり一品の推進については、生産技術と同じく販売技術についても、研究が重要になってきているといわれますが消費者の関心の高い有機土壌作りと無農薬栽培の研究に積極的に取り組むときではないかと思ひます。

地域おこしの先進を目指されている町の発展の基本には、地域の自然環境条件でなく住民が一体となって意欲的に産業興しに創意工夫をいかしたむらづくりが展開されていきます。

本町の町勢の推移を顧みる

無料特設人権相談所開設

1月20日（金）特設人権相談所が老人福祉センターで開設されます。結婚や離婚、相続、いじめなどでお困りの方は遠慮なくご相談下さい。

昭和63年度 第4次自衛官募集

- 募集期間～(1) 男子 昭和64年1月1日～昭和64年3月31日まで
- 応募資格～採用予定月の1日現在で18歳以上25歳未満の日本国籍を有するもので、学校教育法に定める中学校卒業程度以上の学力を有し、かつ自衛隊法に定める欠格条項に該当しない者とする。
- 試験科目～筆記試験（国語（作文を含む）、数学、社会）身体検査、適性検査及び口述試験とする。
- 書類の請求・問合せ～役場総務課・自衛官募集事務所まで

最優秀賞
「むらおこし 夢もて知恵
だせ 力だせ」
中原 一 美 橋ノ口
優秀賞
「ふるさとで わたしも一
役 むらおこし」
中原 正 美 橋ノ口
「こん品を 活かすあなた
が むらおこす」
早瀬 勇 早瀬
佳作
「むらおこし この手この
汗 この知恵で」
川 前 イサ子 池 野
「あなたの知恵 わたしの
声が むらづくり」
坂 口 美代子 東大原
「むらおこし あなたも私
も みな参加」



むらおこし標語の表彰



MBCの「むっちゃん」を囲んで

白 桃 隆 治 池 野
(花瀬焼)
坂 下 誠 二 上 柴 立
(宝船・わら製品)
瀬 口 政 夫 上 柴 立
(自催在かき)
橋 口 照 夫 橋ノ口
(プロイラー搬出用レール)



縁の下の力持ちの表彰者

△何でも田代一▽
。牛の体重あて
川 辺 大 樹 原 沢
。大根の千切り
基 和 代 盤 山
。柿の皮むき
野 田 マ サ 橋ノ口
。茶の荷作り
川 畑 力 男 盤 山
。インゲンパック詰
限 元 ミス子 下
。しいたけパック詰
上 吹 越 節 子 下
。縄ねり
松ノ下 勉 中 尾
。丸太早切り
中 間 良 一 上 原
。一輪車のり
柴 立 卓 柴 立
。腕相撲
小 川 誠 鶴 園
。なんこ
橋 口 俊 美 橋ノ口
。縄飛び
大 園 竜 二 平 石
。力持ち(重量挙げ)
原 沢 幸 朗 麓 住宅
。逆立ち
斜 木 誠 西 大 原
。綱引き
むらづくり推進
(川原地区)
。じゃんけん
牧 原 ユ ミ 山 下



昭和63年度田代町振興大会 むらおこしシンポジウム 田代町むら自慢大会



功労賞受賞のみなさん

昭和六十三年田代町振興大会、むらおこしシンポジウム、田代町むら自慢大会が、去る十一月二十七日、開発センターに於いて、町民の皆さん総参加で盛大に開催されました。

振興大会は、松田町長のあいさつ後功績ならびに審査報告がされ、各方面に亘る功績に対し表彰が行なわれました。今年は功労賞として個人七名、奨励賞として十三小組合が栄えある表彰を受けられました。そして鹿屋農林事務所長となんぐう農業協同組合長の激励の言葉をいただきました。

尚、表彰された方々は次のとおりです。(敬称略)

△功労賞▽
産業経済の部
。小 園 利 光 上 柴 立
。水 流 一 蔵 鶴 園
。坂 口 國 夫 東 大 原
。水 流 幸 一 鶴 園
。故・川 路 秀 吉 猪 鹿 倉
。教育文化の部
。篠 原 亮 橋ノ口
。地方自治の部
。池 田 一 雄 郡 山 町
。納税の部
。下、馬場、東ノ原、東中郡
橋ノ口、岩崎、折小野、柴立
上柴立、上原、原沢、猪鹿倉
鳥 淵



奨励賞受賞のみなさん

から募集した「むらおこし標語」の表彰を行いました。

また、菱刈町役場経済課長の永吉弘行氏、開聞山麓香料園代表の宮崎泰氏、奄美サンサン王国初代・第五代大統領の南祐和氏の御三方によりむらおこしに関して事例発表がされ、町民もこの発表には真剣に聞き入っていました。

事例発表後、鹿児島経済大学経済学部助教授の野元健作氏コーディネーターとしてパネリスト五人でパネルディスカッションを行った後昼食に入りました。

一方、昼食時間を利用して開発センター前で、大根占宮林署が署員自作の木製品の販売、南州農場が肉、田代町商工会が特産品として開発中のイノシシのみそ漬、酒カス漬を焼肉として試食を行い大変好評を得ておりました。

また、農協集荷所では農作物やわら製品(しめ縄等)、むら自慢品の花瀬漬やジャムセット等が展示即売され、市価より安いとあってまたたくまに売り切れの状態でした。

むらおこし標語の表彰者は次の方々です。(敬称略)



大根占宮林署の木製品販売

大盛況で
あった
展示即売



むら自慢品の花瀬漬販売



堀ノ内光子

成人おめでとう

私がこの世に生れて二十年がたちます。人生の中で新しいスタート地点に立ったわけですが、この地点に立つと

若さを存分に発揮し 社会に役立つように

今までと違い難しく厳しい条件のある道を歩いてゆかなければなりません。十代とは違い甘えのきかない、中途半端の許されないのが成人になる事だと思えます。私は高校を卒業して二年間知らない土地で生活しましたが、その時もやはり社会人とは甘えなど許されないことがわかりましたが、これからはそれよりもなお「自分に厳しく他人に優しく」の精神をもつ

生きて行かなければならぬと思います。十代の頃は早く二十代になり大人の仲間入りをして何でも自由に行動したいと思っていましたが、今、成人になって自分の行動には責任を取って行かなければならぬのでプレッシャーを感じています。学生時代は、その他大勢の中にいて自分の気持ちが決まらないうちに流れ、沿って行動していた頃があった。もっと個性を出して、自分を表現出来るようにいろんな事に挑戦してみたいし、もっと積極的

な自分にして行きたいと思っています。これからは、同世代の人達だけでなく、いろいろな世代の人達と接しつき合っていくかなければならない。学校の勉強も大切だったが、これから人生の勉強をずっとやっていかなければならない方がもっと大切な事だと思えます。新成人する私達は、まだまだ社会人としては初心者です。先輩の方々の言う事には、積極的に耳を傾けて、いろんな事を吸収して自分のものにしていききたいと思っています。また、

若いから出来る事もたくさんあると思います。困難にぶつかっても結果を恐れず、思い切り体当たりでぶつかれば、おのずと道も開けてくるだろうし、後に悔いも残らず、結果が良ければ喜びも倍増する事だと思います。若さも存分に発揮して、少しでも社会に役立つ様になりたいと思えます。これから自分の言動には自信をもって生活し、自己啓発に努力して行きたいと思えます。社会、諸先輩方々のご指導をよろしくお願い申し上げます。



鮎川 和明

今日こうして成人の仲間入りができることを大変有難く思っています。二十歳というまだまだ先のことのようなかたわりのがありました。あつという間にきてしまいました。実際自分自身では、こ

れまでと比べてそれほど成長した感じはありません。それにこんなことを自分がこうしてやるとは思ってもみないでした。ですから、何をどう話せばよいのかよく考えてはみましたが、それらしいことはいっこうに頭に浮かびません。でも、自分なりにこれまでの経験をもとに述べさせて頂きます。私は、まだ学生であり経済的にも両親に頼っているのです、すでに社会人となり、実際職

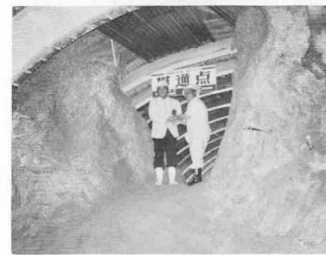
場で働いている方々とする自立できていないのですが、自分で考えて進んだ道なので後悔はしていません。さて、入学して二年目にこのような節目を迎えることになり、これを契機にこれからの生き方に対してもっと見直すべきだと思っています。それから今、アルバイトをやっているのですが、そのアルバイトを通して社会における厳しさが多少わかった気がします。そのアルバイトは、

タイヨーの食料品売場にある主に海産物を取り扱った卸業の仕訳作業です。はつきりいつて作業自体は慣れればそう大変ではないのですが、時々確認を忘れたりして間違ったまま運んでいたりすることから自分のことだからとやっていかげんにやるわけにはいきません。それも確かに最初のうちは大目にみられるでしょうが同じ誤ちを二度も三度も繰り返してしまうと取り返しがつかなくなることがあります。このように、社会における

誰のものでもない自分の人生です。で「ただ生きる」のではなく、よく生きる。悔いの残らない生き方をしてゆきたいです。諸先輩方、これからもよりよきご指導をよろしくお願い申し上げます。

誰のものでもない自分の人生 悔いの残らない生き方を

昭和63年主なできごと



新田トンネル本抗貫通

- 1 元町長、門前信好氏逝去、町、門前家合同葬で告別式を実施 (1月12日)
- 2 辺志切総代区が優良たばこ生産団体として、鹿児島県知事賞を受賞(2月29日)
- 3 田代町麓稼山組合(代表窪園勲)熊本営林局長賞受賞 (3月1日)
- 4 奥花瀬の自然林が、県森林浴の森に選定される (3月20日)



田代町教育長に津曲實雄氏

- 5 九州電力K.K.、花瀬川発電所改築完成1,100KW となる (4月1日)
- 6 大根占営林署花瀬製品事業所40年の歴史を閉じ閉山 (7月1日)
- 7 第26回郡民体育大会田代町で開催される (7月24日)
- 8 国道448号線 新曲トンネル本抗貫通 (8月3日)
- 9 田代町「少年の船」の団員52名姉妹町与論町を訪問交歓会で友好の絆を結ぶ(8月2日-6日)
- 10 かごしまの味ふるさと列車、体験農業ツアー合同で田代の農業を体験、東京近郊から11名、鹿児島市から17名参加 (8月4、5日)
- 11 与論町「少年の船」45名 田代町に来町 (8月11日)
- 12 ふるさと味の「田代便」第1便[86]個 県内、北九州、関西、関東へ発送 (8月11日)
- 13 国営肝属南部総合農地開発事業はじまる(中村上原団地に着工) (8月29日)
- 14 旧南大隅高等学校田代分校跡土地、建物無償譲与決定 (9月27日)
- 15 肝属郡身体障害者スポーツ大会田代町で開催される (10月13日)
- 16 池田一雄、教育長任期満了により解任、新教育長に津曲實雄氏就任 (10月24日)
- 17 第2回ふるさと秋まつり大会においてMBCから連続優秀賞受賞 (10月28日-30日)
- 18 田代町健康まつり サラライフふれあいの広場開催 (10月30日)
- 19 秋の叙勲で、消防功労により久保藤雄氏「勲六等単光旭日章」を、林業功労者として迫森竹氏「勲五等瑞宝章」を受く (11月3日)
- 20 町振興大会と併行して、第1回田代町むら自慢大会開催(縁の下力持ち、何でも田代一決定)むらづくり標語優秀作決定 (11月27日)
- 21 花瀬地区むらづくり推進協議会が国の農林水産まつり、「むらづくり部門」で九州農政局長賞受賞 (11月30日)



八ノ尾橋 渡り初め式



田代町「少年の船」の団員

- 22 旧南大隅高等学校田代分校跡地に企業進出、立地協定調印式
・田代日昌株式会社(本社 広島県)
・株式会社カワノバッグ(本社 千葉県) (12月15日)
- 23 国道448号線、八ノ尾橋完成 渡り初め式挙行 (12月21日)



ふるさと列車の参加車

新しい年を迎え、心を新たに
して、皆さんとともに本町の
教育振興のために努力して
いく所存でございますのでよ
ろしくお願いいたします。
さて、昨年十月本町に着任し
て以来、できるだけ早く本町
の実態と課題をとらえるため
努力してまいりました。その
中で、特に強く心に残ったこ
とは、長い期間にわたって培
われてきた、田代町のすばら
しい教育的伝統にふれること
ができたことです。今後もそ
の伝統を温めながら更に発展
するよう努力してまいりたい
と思ひます。
勿論、世の中の急速な変化
に即応していくために情報処
理能力や国際理解の教育を通
して、広く世界に目を開き、
視野を広げていくことが極め
て大事なことであります。
田代の子どもたちは素直で
礼儀正しいすぐれた特性を持



新春を迎えて思うこと
教育長 津曲 寛雄

ています。しかし、今後きび
しい社会環境の中で、いかな
る誘惑にも負けず、自分の目
標に向って、どんな困難があつ
ても、それをのり越えていく
たくましい体力と気分を育て
ていかなければならないと思
ひますが、どうでしょうか。
今、学校教育に求められて
いるものは、生涯学習の考え
方と変化や発達に対応できる
力を育てることだと思ひます。
昨年の暮、田代小に情報処理
能力を育てるためのパソコン
を導入いたしました。児童・
生徒の情報処理の能力を伸ば
すとともに、一般の町民の方々
の新しい情報機器に対する理
解も深めていただきたいと思
っております。
また、学校教育の中では今
後特に基礎基本となる知識や
技能が身につけていなければ
なりません。特に小中学校の
義務教育においては、すべて
の教科の基礎となる基本的な
事項が充分身につけていなか
ればなりません。また一方、
一人ひとりの子どもの奮いた
つ心を育て、自分から進んで
勉強する子どもを育てたいも
のです。
次に、社会教育について考
えてみますと、本町ではいろ

いろな社会教育団体があり、
その中にはすばらしい活動を
続けている団体もあり、かね
てから深く感謝していること
ろであります。今後全町民が
それぞれ、自分を向上させる
ための課題をもち、いろいろ
な学習の機会を活用して自分
を高めてくださるよう願ひし
ております。そのためには、
町をあげて、地域ぐるみの学
習活動や実践活動が更に高ま
ることを期待しています。
最後に、田代町の次の時代
を担う青少年の健全育成につ
いて考えてみたいと思ひます。
子どもは大人の後姿を見て育
つと言われてきましたが、今
こそ、大人が地域ぐるみで、
青少年の問題を考え、実践す
べき時期にきているのではない
かと考えています。各関係
団体が互いに連絡を密にしな
がら、地域での活動をさかん
にしてほしいと思ひます。
子どもたちも住民の一人と
して、できる仕事や役割分担
を与えて、その活動を通して、
郷土のよさを知り、心豊かな
子どもが育てていただきたい
と思ひます。
以上新年に当り、本町教育
の夢を描いてみましたので、
よろしく願ひします。



熱弁をふるう川前康博君



棒踊りの様子

当日は、この他にも青年らし
いユニークな内容の催し物が数々
行われ、団員は楽しく有意義な
一日を過ごしました。

去る十一月二十日(日)、肝属
郡青年祭が高山町文化センタ
ーで盛大に開催されました。
当日、会場は郡内各町から
出品された生け花や写真等
各種展示物が所狭しと並べら
れ、雰囲気は最高でした。
田代町連合青年団(団長宮
原賢志)も意見発表、舞台発
表に参加しました。まず、意
見発表では川前康博君が「世
界の中のふるさと田代町」と
いう演題で、自分が今まで体
験した海外での生活をもとに
発表しました。
舞台発表では、棒おどりを披
露しました。
青年教室として上柴立棒踊り
保存会の皆さんに御指導して
いただき、連日の猛練習で、ヒ
ザにアザをつくりながら頑張り、
ナタと鎌を使った棒踊りとじん
こ節をマスターすることができ
ました。

肝属郡青年祭に 本町青年団大活躍



秋季全国火災予防運動が、
十一月二十六日から十二月二
日まで行なわれました。
この運動は、十二月の火災
が一番発生しやすい気候とな
る時期を迎え火災予防思想の
普及をはかり、火災発生防止
死傷事故や財産の損失を防ぐ
ことを目的として毎年おこな
われています。
田代町消防団では、町内の
各家庭のかまど検査ならびに
消火器の点検等を行ったこと
ろですが、かまど検査におい
て煙突のかさや煙突が割れて
いるのが見つけられた家もあ
り交換するよう指導したこと
ろです。消火器については、
期限切れや消火器がない家が

田代町消防出初式

日時 1月6日 10時～
場所 田代小学校校庭

※新春恒例の消防出初式が行われます。
当日は、中央グランドから田代小学校
までの市中行進、各種表彰、一斉放水
が行われます。

見つけられました。
運動の一環として、十二月
二日池野部落、十二月三日平
石部落において、南部消防署
の指導をうけ消火器の取り扱
い実技講習が行なわれ、最初
は不慣れな手つきでしたが、
後からは消火器にも慣れしつ
かりとした取り扱いをされて
いました。また、テンブラな
べの消火実技などを体験し、
もしもの時の心構えに備えま
した。
これからは空気が乾燥し火
災が発生しやすくなります。
新しい年を無火災で迎えた
ものです。

平石小組合 社会保険庁長官賞を受賞

昭和六十三年年度国民年金功労者表彰式において、
平石小組合の納付組織が、優良団体として社会保険
庁長官賞を受賞されま
した。
受賞理由は、本町で
一番多い被保険者数
(五十六)でありなが
ら過去三年間、検認率
百%であり、保険料集
金方法も班編成して組
織的に行うなど優良納
付組織として認められ
たものです。受賞式は、
11月25日鹿児島城山会
館において行なわれま
した。



花瀬地区むらづくり推進協議会 九州農政局長賞を受賞

昭和六十三年年度農林水産祭むらづくり部門で、花
瀬地区むらづくり推進協議会(会長白桃晋)が、九
州農政局長賞を受賞されました。
これは、県民一体で取り組んでいる農村振興運動
の優秀地区として県より一地区(花瀬)を推薦され
ました。
花瀬地区は、子供と
老人会のふれあい、ソ
フトボールによる連帯
感づくり、生活改善グ
ループ等により農産加
工品ノ生産販売、農作
業体験ツアーの実施な
ど積極的に取り組んで
います。
これを機会に、なお
一層のむらづくりを展
開して下さい。



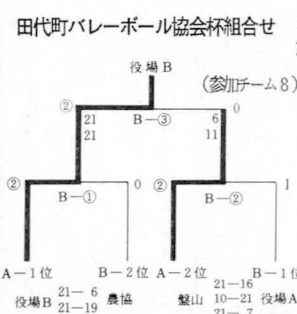
第112回 高山木材共販相場表

TEL0994-65-5234 昭和63年12月1日市

長 級	径級	スギ				ヒノキ				平均単価
		主 曲	安 曲	伐 中	材 高	主 曲	安 曲	伐 中	材 高	
40	3~10				10,500				15,000	18,100円
	11~13				16,000				25,000	
	14~16				17,500				30,000	
	18~22 (タイコ)				21,000				43,000	
30	3~10				18,500				60,000	
	11~13				19,500				50,000	
	14~16				23,000				90,000	
	18~22 (タイコ)				18,500				55,000	
20	3~10				9,000				6,000	
	11~13				12,500				13,000	
	14~16				13,500				18,000	
	18~22 (タイコ)				18,000				37,000	
10	3~10				10,500				10,000	
	11~13				12,500				22,000	
	14~16				18,000				50,000	
	18~22 (タイコ)				19,000				70,000	



婦人ミニバレーボール大会
A・原沢・B・中村が優勝
去る十一月十三日(日)、
二十四チームの参加のもと、
第十四回婦人ミニバレーボ
ール大会が開催されました。
ファール大会が続出し、接戦
の試合が展開されました。



町バレーボール協会杯
バレーボール大会
―役場Ｂチームが優勝―

町協会杯バレーボール大会が、十一月十五日・十六日の二日間にわたり、開催されました。どの試合も熱戦が展開され、盛会に終わりました。大会の結果は、次の通りでした。



町体育指導委員の指導のもと、十一月十九日（土）の「青少年育成の日」に、麓・川原・大原の三地区でランドゴルフ教室を開催しました。約四百名の参加者を得、盛大に終わりました。



高齡者学級
田代町内史跡めぐり

生涯教育の一環として、毎月行なわれている高齡者学級で、十一月は町内の史跡巡りを実施した。

町文化財保護審議会の神田三男委員に愛宕山の磨崖五輪・勝尾城趾・若宮八幡など数ヶ所案内・説明をしていただいた。

町内に点在している史跡。そこに在るのは知っているがいつごろ、なんのために作られたのかを改めて知り、田代町の歴史を深く味わった学習会であった。

著者 バーバラ・J・バーグ
出版社 晶文社

時間に追われ、あらゆることが間に合わせのまますぎていくような毎日。仕事と子育ての綱引きの真ん中で感じる孤独、焦り、そして罪悪感。

自らも働く母親である著者が、しなやかに生きることへの豊かな可能性を語る。

日本の父親、母親、先生方のすべてが読んでほしい本。
—NHKアナウンサー 鈴木健二—

『働く
母親たちが
危ない』

圖書室案内

『わが息子、娘のために
父親は
何ができるか』

新刊圖書紹介

昭和63年 1 月号

AET (英語指導助手)
に学んで



今年も教育事務所のディウツド＝スミスさんの英語授業を二・三回受けることになった。四学級、百名そこの学校で二名の英語教師がいるのにどうしてAETをお願いするかというと、やはり本場の生の英語にできるだけ接する機会を持ち、やがてやってくる国際化時代の基礎を養っておく願いからである。

三年の瀬口美穂子さんは、私が初めて英語で話をした外国人は、スミスさんでした。スミス先生はいつも私達に、語りかけ質問します。こんな時、ドキッとしてしまいますが、先生はやさしく接し、私

達がよく理解するよう何度か同じ単語を並べ質問してくれます。また、私達がよく答えられなくても、「おお、グッド、グッド」といつてくれますので、ホッと、とてもうれしくなり英語を話す勇気ができます。スミスさんがこの田代中にくることによって、私達生徒は、もっと英語を話す勇気を備えることができるでしょう。と書いています。

本人もアメリカ的気質を持ちながら、熱心に授業に打ち込んでくれますので大助かりです。そして、田代中の生徒は明るい、授業に行きやすいといっています。

中学校最後の文化祭
田代中三年 福山敏史

僕たち三年生は、中学校最後の文化祭ということで、すばらしい劇や歌を仕上げようと、一ヶ月ほど前から練習を始めました。その結果、さすが三年生と言われるような劇が、一、二組とも完成しました。

文化祭のテーマは、「さがしだそう夢と未来」で、この



テーマは、生徒会の文化部が中心となり、みんなにアンケートを取り、決めたものでそれに基づいて文化祭が行なわれました。

三年一組の劇は、「白鳥の湖」で、涙ありのとても感動するものでした。最後は、本当に泣き出す人もいて、すばらしい劇でした。

二組の劇は「ラブレター」でした。これは、今までになつて、ギャグありのユーモラスなものでした。最後は、とても感動的でした。

プログラムの最後は、三年生全員による合唱でした。これは、ほんとうに中学校最後ということで、泣きながら歌っていました。そして、静かに、中学校最後の思い出に残る文化祭が終わりました。

初めての文化祭
田代中一年 福留百代

十一月十七日、私たち一年生にとって、初めての文化祭がありました。

上級生と同様に、私たちも文化祭のために、劇や合奏の練習をしました。が、初め、なかなかうまくいかず、せりふを読みながら劇の流れをつかむのもたいへんでした。また合奏も初めは、思うようにできませんでした。しかし、みんな一生懸命にがんばり、当日、一年生なりに劇も合奏もよくできました。



初めての文化祭の中で、私にとつて、一番心に残ったのは、三年生の劇と合唱でした。三年生にとっては、最後の文化祭だけあって、どれもすばらしく、とても感動しました。

来年の文化祭では、今年以上にがんばりたいと思います。ほんとうに、よい思い出となった文化祭でした。

サンライフ運動

肝属地区推進大会

去る十一月二十二日、大根占町において第六回サンライフ運動肝属地区推進大会が開催されました。

開会行事に引き続き各種、表彰が行われました。

本町からは、一サライフ連動功労者、美しい郷土づくり部門」で鶴園末吉さんが、又「南日本花だんコンクール入賞団体として田代中学校が表彰されました。



午後からは九州青年の船に参加した四人の青年（田代町からは川前康博君が参加）の、スライドを使った体験発表もありました。

健康だより

「胃の検診結果だより」

六十三年度の胃検診も11月8日から8日間実施しましたが、787名の参加をいただき終了する事ができました。

御協力ありとうございました。受診者の状況は、次のとおりです。

①集落別胃検診受診者数

立	柴	上	12	山	口	山	人	部
23	24	16	46	18	16	16	16	下
16	16	25	25	16	16	16	16	馬
35	35	30	30	13	13	13	13	場
20	20	9	9	16	16	16	16	東
34	34	9	9	16	16	16	16	ノ
20	20	3	3	23	23	23	23	長
40	40	19	19	25	25	25	25	谷
12	12	12	12	34	34	34	34	郡
22	22	27	27	55	55	55	55	西
28	28	11	11	23	23	23	23	中
8	8	22	22	21	21	21	21	郡
17	17	20	20	32	32	32	32	東
				17	17	17	17	中
								橋
								ノ
								口
								村
								下
								崎
								木
								表
								折
								小
								野

②年代別男女別受診者数

男	女	計
5	12	17
45	77	122
91	168	259
82	178	260
43	76	119
4	6	10
270	517	787

③精密検査者内訳

男	女	計
7	2	9
22	18	40
27	23	50
15	9	24
1	0	1
72%	52%	124%
26.7%	10%	15.8%

本年度の受診者総数では、昨年566人に比べ約222人増加し

ており、男女別数では、毎年の事です。女性が圧倒的に多く、3割を占めており、年齢別では50才代、60才代が多い、精密検査者においては、男女別では、受診者数の少ない男性の方が二倍の率になっており、年代別では受診者数の多い50才代、60才代にやはり多くみられます。

精密検査の通知を受けた方は、どうも忙しから・忙しい・めんどろだ・恐ろしい等と言わず是非検査を受けましょう。精密検査を受けてこそ、集団検診を私は受けたと言えます。40代から病気になる率も、死亡率も増える胃ガン、胃ガンはまず胃壁の粘膜にできますが、粘膜だけにとどまっているものを早期ガンといい、早期ガンのうちに発見して手術をすれば、ガンと言えども100%なおります。

特に早期ガンは、ほとんど自覚症状がないため、自分では健康だと思っても、40才を過ぎたら一回は必ず胃の検査を受け、早期発見する事が極めて大切と言えます。

さらに男性に極めて多い胃癌です。男性の方のふん気を期待しております。

人口のうごき

昭和63年12月 1 日現在

住民基本台帳	増		減		前月対比
	出生	転入	死亡	転出	
男	1799	3	3	6	△3
女	2076	1	4	4	△2
計	3875	4	7	10	△5
世帯数	1451				△2



戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



田代町社会福祉協議会

「篤志寄付金」

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄付を賜りました。厚くお礼申し上げます。

武田 徹郎 様
名ヶ迫 廣 様
郡山 義文 様
浜田 イワミ 様
徳永 のり子 様



「訂正」

十一月号の年金受給手続きの記事中、六十歳以上の減額支給の年金受給率が「48%」となっておりましたが「42%」の誤りでしたので訂正してお詫び申し上げます。